

薬学委員会

薬剤師職能とキャリアパス分科会（第24期・第2回）

日時 平成30年6月6日（木）10:00～12:10

場所 日本学術会議6階 6-A会議室（1）

出席者 平井みどり、入江徹美、堤 康央、橋田 充、安原真人、矢野育子

参考人 安川文朗（横浜市立大学国際総合科学部教授）

議事

1. 前回分科会議事要旨案の確認を行った。
2. 参考人から「薬剤師の職能キャリアパスの経済的評価」のレクチャーがあり、意見交換を行った。
3. 今期中に報告書を発出することを確認した。

会議メモ

- 資料1 薬剤師職能とキャリアパス分科会（第24期・第1回）議事要旨(案)
- 資料2 「薬学教育の視点から見た生涯教育の課題」佐々木昌弘 氏
- 資料3 「薬剤師の職能キャリアパスの経済的評価」安川文朗 教授
- 資料4 「我が国における認定・専門薬剤師制度の現状と今後の展望」矢野育子 委員

- ・ アメリカ等ではテクニシャン制度があることを考慮する必要があるものの、人口1,000人あたりの日本の薬剤師数は世界で2位で多い。
- ・ 薬剤師の活躍するべきフィールドを広げていく必要がある。
(Precision medicine、地域医療、災害医療等)
- ・ 英国でのMUR(Medicine Used Review)：薬の使い方のreview。結果を医師・製薬メーカーに伝える。
- ・ 薬剤師の賃金は医師に次いで高いが、十分とは言えない。特に病院薬剤師の賃金が低いことが問題。なりたくても奨学金の返済があるので、なれない問題等。
- ・ 薬剤師が効果的に活用されていることを示す指標は何か？
- ・ 社会的満足度のindicatorは何か？
- ・ コストをかけて薬剤師を養成する意義は？
- ・ 薬剤師の地域偏在の問題。
- ・ AIが発達する中での薬剤師の役割は？
薬に責任をもつ。患者のガイド役として。AIへの材料を提供。コミュニケーション、個の最終判断はヒトがする。
- ・ 高齢社会を迎えて、働き手が減るので、機械化、AIを使って薬剤師数を減らすという考えもある。
- ・ 認定・専門薬剤師の国民からみでの意義
- ・ レジデントの意義

以上。